

にほんすぎ    もちすぎ  
二本杉 ・ 餅杉

市指定天然記念物

宮内の熊野大社から菖蒲沢を通り、北へ約 1km の所に鳥居が見えてきます。そこに門杉の堂々とした 2 本の杉があります。

西側の杉は、高さ 24m、樹齢約 600 年。東側の杉は、高さ 19m、樹齢約 400 年の見事な天然杉で、平成 14 年 3 月 25 日、市指定天然記念物に指定されました。この「二本杉」は天然杉の代表的な大木で、かつては羽山権現（※1）への参詣者の参道の目印になっていました。

その参道をさらに約 1km 登った所に、見事な大杉が目に入ってきます。「餅杉」です。その杉は、根回り 6.4m、目通り幹囲 4m、高さ約 25m 程の大杉です。地上約 1.5m の所から東の真横に大枝を伸ばし、さらに約 3.5m の所から四方へ大枝を伸ばし、それぞれ約 5m 程に伸びた後、直上しているとても珍しい樹形をしています。しかも樹齢約 400 年の天然杉で代表的な大木で、昭和 43（1965）年 10 月 4 日、市指定天然記念物として指定されました。



▲参道の目印になっていた「二本杉」



▲珍しい樹形をした「餅杉」

かつて、この道は宮内・白鷹・吉野を結ぶ道になっていて、杉の木の下に参詣者や往来者のために餅を提供していた茶店があったことから、この杉に「餅杉」という名がついたと言われてい

ます。  
「餅杉」「二本杉」は、県指定の「妹背の松」「熊野神社の大イモセ」市指定の「眺陽桜」「慶ちょうようざくら けいかいざくら 海桜」と共に宮内の六名木として大切に保護されています。季節に合わせて六名木巡りなども楽しいのではないのでしょうか。

※1＝山形県は、羽山権現を祭る羽山信仰の盛んな地でした。宮内熊野大社の北端にある羽山の羽山権現も熊野大社の奥の院ともされ、参詣者も多かったようです。羽山権現は、明治 4（1871）年の大風で倒壊し修理を重ねながら室町風の流造の面影を残しています。中に祭られていたご本尊の薬師如来は、現在、宮内の宝積坊に秘仏として保存されています。

南陽市文化財保護審議委員 山口吉子  
平成 27 年 8 月 1 日号 市報なんよう掲載